

学校施設整備計画

平成 28 年 3 月

恵庭市教育委員会

教育施設整備計画

1. 学校施設の現状	-----	1
(1) 小学校の建設年と改修履歴	-----	2
(2) 中学校の建設年と改修履歴	-----	3
2. 学校施設整備の基本方針	-----	3
(1) 施設整備の実施方針	-----	4
(2) 施設整備の進め方	-----	5
(3) 学校別施設整備方針	-----	6
(4) 年度別施設整備計画	-----	8

1. 学校施設の現状

恵庭市の学校施設は、昭和 40 年代前半から昭和 50 年代前半に建設したものが大半であり、老朽化が進んでいる状況となっています。この内、全面的な大規模改修を実施している学校が 4 校、校舎の改築をした学校が 1 校、体育館の改築をした学校が 5 校となっています。

その他の学校施設について、計画的な大規模改修等の実施の必要がありますが、児童・生徒の安全・安心な学習・生活の場を早期に確保するため、耐震化を優先して推進していることから、全ての学校施設の耐震補強完了後に緊急の課題となる改修と併せて実施していくこととしています。

大規模改修の時期としては、施設の耐用年数を 60 年とした場合、建設後 20～30 年を目途に行うことが施設を適正な状態で維持する上で重要であり、その後 35～45 年を目途に中規模改修（屋根・外壁の改修）を行うことが望ましいと考えられます。

しかし、大規模改修が未実施の小中学校は、建設後 40 年以上を経過している学校がほとんどであり、施設の老朽化が進んでおり、適正な教育環境を保持するために大規模改修を実施することが急務となっています。

また、大規模改修の時期が遅延となった場合には、故障が発生してから手当てする事後保全による経費がかさむことや大規模改修時に要する経費も大きくなり、不経済と考えられます。

このため、予防保全の観点から、一日も早く計画的に大規模改修を行い、ライフサイクルコストの削減と建物の長寿命化を図ることが望まれます。

これらの学校では、次のような施設面の問題を抱えています。

《内外装・建具》

- 外壁塗装の劣化、打継・開口部廻り・ガラス廻りのシールの劣化から、風雨時の雨漏り
- 屋根鉄板のハゼ部腐食及びゆるみから生じる雨漏りやスガ漏り
- 屋上防水の経年劣化による漏水、屋上排水金物及び排水管の経年劣化による漏水
- 内部床 P タイルの剥離、壁・天井の塗装剥離及び損傷や下地の不良（たわみ）
- 鋼製建具、木製建具のレール・戸車の磨耗による開閉困難及び木製建具の傷み

《給排水給湯・暖房換気》

- 特別教室等の単独排気設備や給湯設備が未整備による授業への影響
- 排水管の腐食や尿石による排水不良及び給排水管腐食に伴う漏水
- トイレが臭い・暗い・汚いなどにより使用困難な児童・生徒の増加
- 時間外の防寒対策及び燃料費削減のため、職員室・保健室・図書室等への個別暖房の設置

《電気設備》

- 照明器具の経年劣化による安定器の不良及び照度不足
- パソコン、電気機器等の増加に伴う電気容量不足
- 火災報知設備の配線及び機器の劣化による誤報

《その他》

- 非構造部材の耐震化（天井材、内外装材、照明器具、設備機器、窓ガラス、家具等）

＝(1) 小学校の建設年と改修履歴＝

平成 28 年 3 月 1 日現在

学校名	昭和 30 年代	昭和 40 年代	昭和 50 年代	昭和 60 年～	改修履歴 (年度)
恵庭小学校	・校舎 1 棟 (S33) 〈53 年経過〉	・体育館 (S42) 〈改築済〉 ・校舎 3 棟 (S40,41,41) 〈49～50 年経過〉		・体育館 (H5)	・S60～H2 部分的改修 ※1 ・H5 体育館改築 ・H23 耐震補強 (校舎) ・H23 トイレ改修
島松小学校	・校舎 1 棟 (S43,45) 〈改築済〉	・体育館 (S47)		・校舎 1 棟 (H17)	・H11 体育館屋根改修 ・H17 校舎改築 ・H24 体育館耐震補強
柏小学校		・体育館 (S41) 〈改築済〉 ・校舎 5 棟 (S39,40,41 46,47) 〈43～51 年経過〉		・体育館 (H8) ・校舎 1 棟 (H17)	・H1～H3 部分的改修 ※2 ・H8 体育館改築 ・H17 校舎屋根葺替 ・H24 耐震補強 (校舎) ・H25 トイレ改修
和光小学校		・体育館 (S47) 〈改築済〉 ・校舎 2 棟 (S45,46) 〈44～45 年経過〉	・校舎 1 棟 (S54)	・体育館 (S62) ・校舎 1 棟 (H22)	・H12～H15 大規模改修 ・S62 体育館改築 ・H23 耐震補強 (校舎)
松恵小学校		・校舎 2 棟 (S45,46) 〈44～45 年経過〉 ・体育館 (S46)			・H9 部分的改修 ※3 ・H24 耐震補強 (校舎・体育館)
若草小学校			・体育館 (S51) 〈改築済〉 ・校舎 3 棟 (S49,51,53) 〈37～41 年経過〉	・体育館 1 棟 (H15)	・H15 体育館改築 ・H19 耐震補強 (校舎) ・H20～H22 大規模改修
恵み野小学校			・校舎 2 棟 (S56,57) 〈33～34 年経過〉 ・体育館 (S57)	・校舎 1 棟 (S59)	・H22 体育館屋根葺替
恵み野旭 小学校				・校舎 2 棟 (H2,4) 〈23～25 年経過〉 ・体育館 (H2)	・H25 多目的トイレ改修
計	1 棟	13 棟	7 棟	11 棟	36 棟

※1 の改修内容は、校舎の屋根塗装、屋内消火栓設備改修、特別教室の内装・設備の改修

※2 の改修内容は、校舎の屋根塗装、外壁塗装、内部塗装 ※3 の改修内容は、校舎・体育館の屋根葺替、外壁塗装

★ () 内数字は建設年度

—(2) 中学校の建設年と改修履歴—

平成 28 年 3 月 1 日現在

学校名	昭和 30 年代	昭和 40 年代	昭和 50 年代	昭和 60 年～	改修履歴 (年度)
恵庭中学校		<ul style="list-style-type: none"> 校舎 2 棟 (S42,43) <47～48 年経過> 体育館 (S46) 		<ul style="list-style-type: none"> 校舎 2 棟 (S62,H18) 	<ul style="list-style-type: none"> H4～H8 大規模改修 H23 耐震補強 (校舎・体育館)
恵北中学校		<ul style="list-style-type: none"> 校舎 3 棟 (S44,45,46) <44～46 年経過> 体育館 (S48) 		<ul style="list-style-type: none"> 校舎 1 棟 (H5) 	<ul style="list-style-type: none"> H2～H5 部分改修 ※4 H23 耐震補強 (校舎・体育館) H25 屋根改修 H27 トイレ改修
恵明中学校		<ul style="list-style-type: none"> 校舎 1 棟 (S48) <42 年経過> 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館 (S51) <改築済> 校舎 3 棟 (S50,50,52) 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館 (H12) 校舎 1 棟 (H26) 	<ul style="list-style-type: none"> H6～H10 大規模改修 H12 体育館改築 H24 耐震補強 (校舎)
柏陽中学校			<ul style="list-style-type: none"> 校舎 2 棟 (S55,58) <32～35 年経過> 体育館 (S56) 		<ul style="list-style-type: none"> H23 体育館屋根葺替
恵み野中学校				<ul style="list-style-type: none"> 校舎 3 棟 (S63,H2,6) <25～27 年経過> 体育館 (H1) 	
計		8 棟	6 棟	9 棟	29 棟

※4 の改修内容は、校舎の外壁・屋根の塗装、普通教室内部塗装・設備改修、特別教室内装張替・設備改修、

体育館の外壁塗装・屋根葺替、アリーナ照明取替・バスケットゴール電動化 ★ () 内数字は建設年度

2. 学校施設整備の基本方針

学校施設は、多くの児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、安全で安心のできる施設であることが必要です。さらに、地震等の災害時には地域住民の収容避難場所としての役割のある重要な施設です。

このことから、学校施設の早期耐震化の実現を優先して施設整備を推進してきており、平成 24 年度に全ての学校施設の耐震化を完了いたしました。

耐震化の完了後は、良好な教育環境を保持するための施設整備に重点を置き、トイレ改修、暖房機の更新や大規模改修を計画的に実施していくこととします。

また、児童・生徒数の増加から学級不足が生じる学校については、新築・増築などの対応について、様々な観点から検討を行い、適切な教育環境の保持に努めていきます。

施設整備の基本方針は、将来の学校適正配置のあり方を踏まえた計画にする必要があります。このため、児童・生徒数の推計を基に将来の状況を推測すると、今後10年間、各小中学校において著しい減少とまらないことや、その後の10年間においても同様の状況であること及び今後の少人数学級の拡大又は、特別支援学級の全校配置など、さらには、現在の学校配置や通学区域の全市的なバランスから、当面20年間は、現状の小中学校の配置が継続するものと想定します。

尚、この基本方針は第5期総合計画の前期基本計画との整合性を図るものとし、前期基本計画の期間を超える施設整備計画については、後期基本計画の中に位置付するよう合意形成を図っていくこととします。

＝ 児童・生徒数の推移（普通学級） ＝

平成25年 恵庭市児童・生徒数推計より

	平成24年度		平成27年度		平成32年度		平成37年度		平成42年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
恵庭小	734	24	729	22	750	23	707	21	636	20
島松小	435	14	347	12	291	12	295	12	289	12
柏小	581	18	498	17	365	12	355	12	349	12
和光小	959	28	980	29	800	27	578	18	490	18
松恵小	89	6	107	6	108	6	108	6	108	6
若草小	481	14	553	17	553	18	469	15	453	14
恵み野小	245	10	228	9	195	8	209	6	193	6
恵み野旭小	351	13	346	12	266	11	283	12	299	12
計	3,875	127	3,788	124	3,328	117	3,004	102	2,817	100
恵庭中	613	18	540	15	450	13	354	11	345	10
恵北中	236	8	249	8	167	6	151	6	144	6
恵明中	573	17	651	19	746	21	577	17	488	15
柏陽中	246	8	220	7	314	10	266	9	237	7
恵み野中	376	12	349	11	287	9	210	7	239	9
計	2,044	63	2,009	60	1,964	59	1,558	50	1,453	47

※平成27年度は、5月1日時点の普通学級の実数

＝(1) 施設整備の実施方針＝

老朽化が進んでいる学校施設の教育環境整備を早急に図るため、大規模改修を重点的に実施していきます。

特に児童・生徒の衛生環境に直接影響があり、学校及び保護者からの要望の高いトイレ改修については別途行っていくこととします。

大規模改修、新築・増築、改築にあたっては、教育環境の充実・向上を基本として、次のことに配慮した施設整備を図っていきます。

- ① 多様な教育活動に対応できるよう、多目的教室の配置や可動式壁を使用したレイアウトフレキシブルな空間づくりを図っていきます。
- ② 特別支援学級の設置に関する対応を図っていきます。
- ③ 環境に配慮した自然エネルギーの活用を図っていきます。
- ④ 誰でもが安心・安全に施設利用ができるようユニバーサルデザインの視点を入れた施設整備を図っていきます。
- ⑤ 災害時における地域の収容避難所として、防災機能の充実を図っていきます。
- ⑥ 将来の学校施設そのもののあり方や求められるニーズの変化に対して、可能な限り対応できるような施設づくりを図っていきます。

＝(2) 施設整備の進め方＝

施設整備の進め方としましては、経過年数や施設の老朽化の現状などを基に社会情勢や財政状況を踏まえ、次のとおりとします。

① 大規模改修

多くの学校施設が建設より40年以上を経過しており、施設整備にあたっては、各学校の経過年数、改修履歴及び老朽化や機能低下の現状を勘案し、計画的に整備を進めていきます。

② 改築

建築物の耐用年数の60年を経過する施設は、改修履歴や老朽化の現状及び今後の改修コスト、又は、地域の児童・生徒数の変化等を勘案した中で、改築の必要性について検討を行います。

③ 新築・増築

今後の児童・生徒数の増加に伴い、良好な教育環境の整備を図る必要が生じた場合は、様々な観点から新築・増築について検討を行います。

④ その他の教育環境整備

多くの学校施設の老朽化や大規模改修に要する経費が多額であるため、全ての学校の大規模改修の完了までには、長期間を要することが想定されます。このため、緊急を要するトイレ改修及び屋根改修などの教育環境整備を、大規模改修と別として計画的に実施していきます。また、暖房設備更新（防音機能復旧）については、設置後20年を経過した暖房機を計画的に更新していきます。

＝(3) 学校別施設整備方針＝

① 恵庭小学校

平成 23 年度に校舎の耐震補強工事が完了しており、今後は、老朽化に伴う大規模改修工事を計画的に実施し、適正な教育環境の保持を図っていきます。昭和 33 年度に建設した北校舎については、耐震性が認められていることから、大規模改修時に適正な対策を実施した上で当面の間、現状のままとしますが、一定期間の経過後、将来の児童数の変化や改修コストを勘案し、改築について必要性を検討します。

体育館は、平成 5 年度に改築していることから、当面の間、現状のままとしますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

② 島松小学校

平成 17 年度に校舎の改築を行っており、当面の間は現状のままとします。昭和 47 年度建設の体育館については、平成 24 年度の耐震補強工事後、当面の間、現状のままとしますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

③ 柏小学校

平成 24 年度の校舎の耐震補強工事後は、老朽化が進んでいるトイレ改修工事を行いました。今後は計画的に校舎の大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。体育館は、平成 8 年度に改築していることから、当面の間、現状のままとしますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

④ 和光小学校

校舎は、平成 12～15 年度に大規模改修工事及び平成 23 年度に耐震補強工事が完了しており、当面の間、現状のままとします。昭和 62 年度に建設した体育館については、屋根改修を行うこととしていますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修の実施を検討する必要があります。

⑤ 松恵小学校

平成 24 年度の校舎・体育館の耐震補強工事後は、老朽化が進んでいるトイレ改修工事を行います。今後は計画的に校舎・体育館の大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。

大規模改修工事の前には、体育館の防音改築について、検討する必要があります。

⑥ 若草小学校

校舎は、平成 19 年度に耐震補強工事及び平成 20～22 年度で大規模改修工事が完了していること、また、体育館は平成 16 年度に改築していることから、当面の間、現状のままとします。

⑦ 恵み野小学校

老朽化した校舎の屋根改修工事とトイレ改修工事を実施後は、計画的に大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。

⑧ 恵み野旭小学校

校舎・体育館の屋根改修工事の実施後は、当面の間、現状のままとしますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

⑨ 恵庭中学校

平成 4～8 年度に校舎・体育館の大規模改修工事及び平成 23 年度に耐震補強工事が完了しており、当面の間、現状のままとします。

昭和 62 年度に建設した増築校舎について、屋根改修工事を行うこととしていますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

⑩ 恵北中学校

平成 23 年度に耐震補強工事が完了しており、老朽化している校舎の屋根改修工事とトイレ改修工事も完了しております。今後は計画的に校舎・体育館の大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。

平成 5 年度に増築した校舎は、当面の間、現状のままとしますが、今後、施設の老朽度、築年数等を勘案し大規模改修工事の実施を検討する必要があります。

⑪ 恵明中学校

校舎は、平成 6～10 年度に大規模改修工事が完了しており、平成 24 年度の耐震補強工事の完成後は、生徒数の増加に伴う教育環境整備として、平成 26 年度で校舎の増築工事を実施しました。

体育館は、平成 12 年度に改築していることから、当面の間、現状のままとします。

⑫ 柏陽中学校

老朽化した校舎の屋根改修工事及びトイレ改修工事を実施後は、計画的に大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。

⑬ 恵み野中学校

校舎・体育館の屋根改修工事の実施後は、計画的に大規模改修工事を行い、適正な教育環境の保持を図っていきます。

	第4期総合計画 後期基本計画期間		第5期総合計画 前期基本計画期間			
	第4次実施計画		第1次実施計画			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
恵庭小学校	非構造部材耐震化(設計)	非構造部材耐震化(工事)		暖房更新設計(講堂)	暖房更新工事(講堂) 大規模設計	大規模工
島松小学校	非構造部材耐震化(設計)	非構造部材耐震化(工事) 暖房更新設計(講堂)	暖房更新工事(講堂)			
柏小学校	非構造部材耐震化(設計)	非構造部材耐震化(工事)	暖房更新設計(校舎・講堂)	暖房更新工事(校舎・講堂)		
和光小学校	非構造部材耐震化(設計)	暖房更新設計(校舎) 非構造部材耐震化(工事)	暖房更新工事(校舎)	暖房更新工事(校舎)		屋根改修
松恵小学校	暖房更新工事(校舎) 暖房更新設計+工事(体育館) トイレ設計	非構造部材耐震化(工事)	トイレ工事	屋根改修工事		
若草小学校	地下タンク工事 非構造部材耐震化(設計)		非構造部材耐震化(工事)	暖房更新設計(校舎)	暖房更新工事(校舎)	
恵み野小学校	非構造部材耐震化(設計)	トイレ設計 非構造部材耐震化(工事)	トイレ工事(1期) 屋上防水工事	トイレ工事(2期)		
恵み野旭小学校	暖房更新設計(校舎・講堂) 非構造部材耐震化(設計)	暖房更新工事(校舎・講堂) 非構造部材耐震化(工事)	トイレ設計	トイレ工事(1期)	トイレ工事(2期) 屋上防水工事	
恵庭中学校	非構造部材耐震化(設計)	非構造部材耐震化(工事)				屋根改修
恵北中学校	トイレ設計 屋根改修工事 非構造部材耐震化(設計)	トイレ工事	非構造部材耐震化(工事)		暖房更新設計(校舎・講)	暖房更新工事
恵明中学校	増築工事 非構造部材耐震化(設計)	外構工事 トイレ設計	暖房更新設計(校舎) 非構造部材耐震化(工事)	暖房更新工事(校舎)		
柏陽中学校	非構造部材耐震化(設計)	トイレ設計 非構造部材耐震化(工事)	トイレ工事(1期)	トイレ工事(2期) 屋上防水工事		
恵み野中学校	非構造部材耐震化(設計)		非構造部材耐震化(工事)	トイレ設計	トイレ工事(1期)	トイレ工
概算事業費(円)	662,157,000	495,994,000	363,349,000	344,759,000	261,588,000	258,4

第2次実施計画		平成33年度以降	備考	
年度	平成32年度			
期)	大規模工事(2期)	<p>・主な事業</p> <p><大規模改修事業></p> <p>整備順 ↓</p> <p>① 柏小学校 ② 恵北中学校 ③ 松恵小学校 ④ 柏陽中学校 ⑤ 恵み野小学校 ⑥ 恵み野中学校</p> <p><暖房更新事業></p> <p>整備順 ↓</p> <p>① 和光小学校(校舎)、恵明中学校(講堂) ② 柏陽中学校(校舎・講堂) ③ 若草小学校(講堂) ④ 恵み野小学校(校舎・講堂) ⑤ 島松小学校(校舎)、柏小学校(校舎)</p> <p>※整備の順については予定であり、学校の老朽度、築年数等を踏まえて改修を進めることとする。</p>		
	大規模設計)			
事	暖房更新設計(校舎)			※H31の屋根改修は講堂
				※H29の屋根改修は体育館
				※H28の屋上防水は校舎
				※H30の屋上防水は校舎
事				※H31の屋根改修は特別教室棟
舎・講堂)	大規模設計)			※H26の屋根改修は講堂
	暖房更新設計(講堂)			
			※H29の屋上防水は校舎	
期)	屋上防水工事		※H32の屋上防水は校舎	
,000	189,360,000	-	-	